

なみ かんしょうさよう

波の干渉作用

■ 用語解説 ■

波は正弦波状に山と谷が規則正しく繰り返す物理現象で、繰り返しのタイミングが同じものは波長が等しいという。2つの波を重ねると山と山、谷と谷が重なり大きな振動になる部分と山と谷が重なり振動が消える部分が発生する、この現象を波の干渉作用と言う。→干渉現象